

経営比較分析表

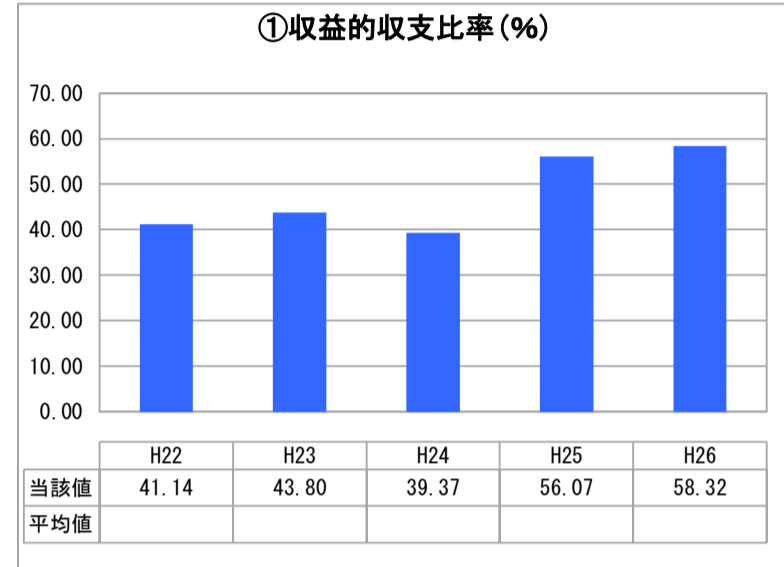
埼玉県 八潮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	72.53	89.52	1,663

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
85,572	18.02	4,748.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
62,121	7.44	8,349.60

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



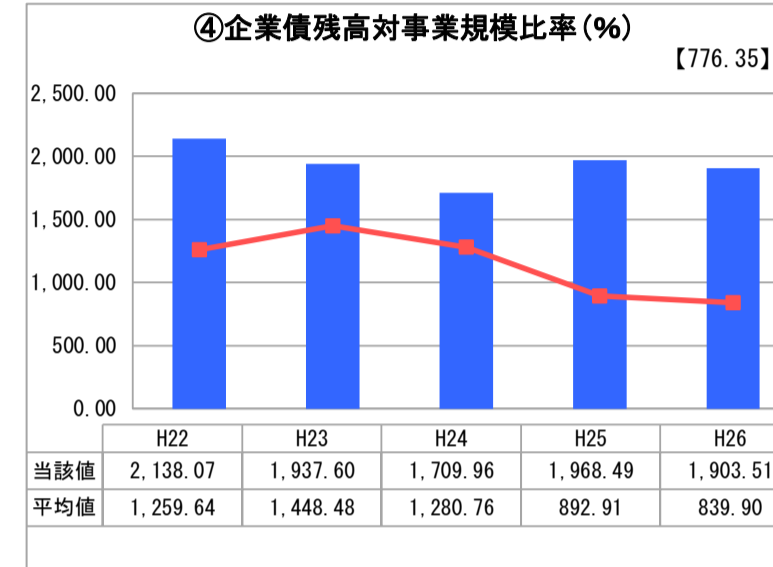
「単年度の収支」



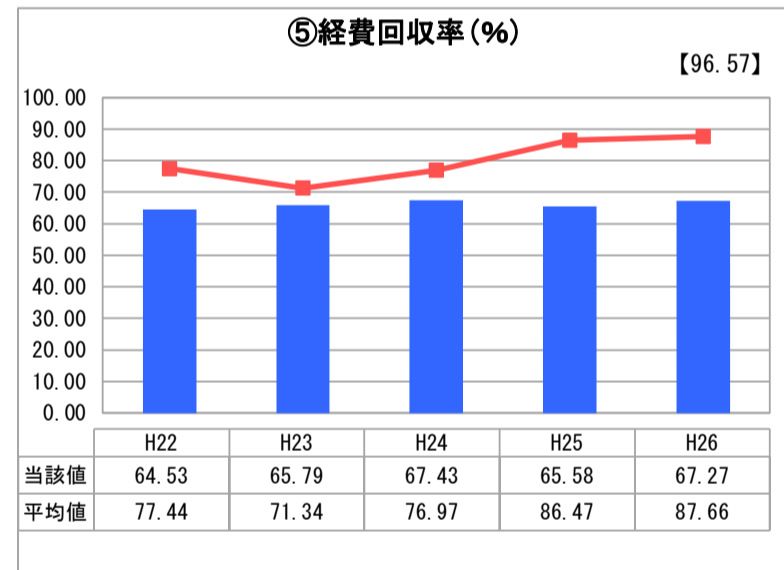
「累積欠損」



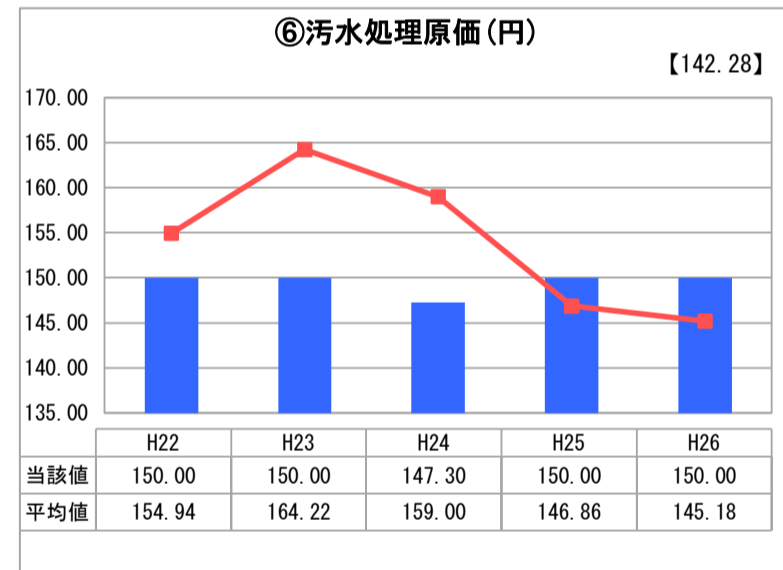
「支払能力」



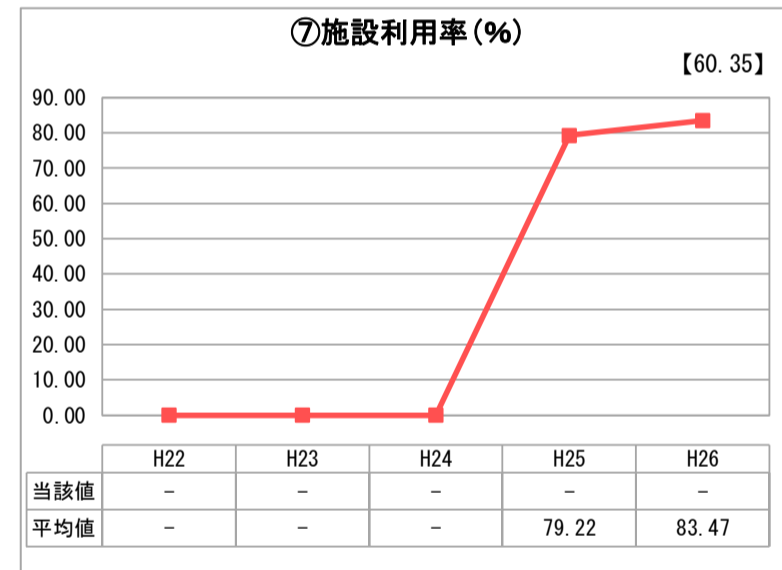
「債務残高」



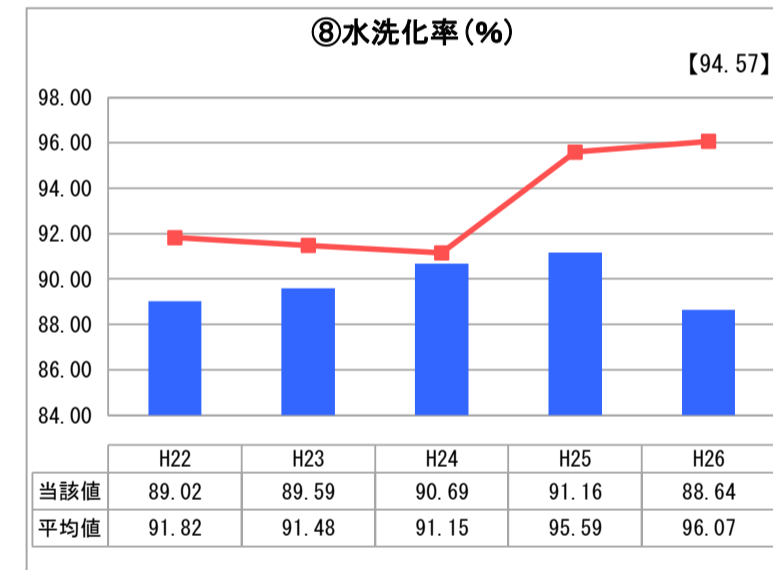
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

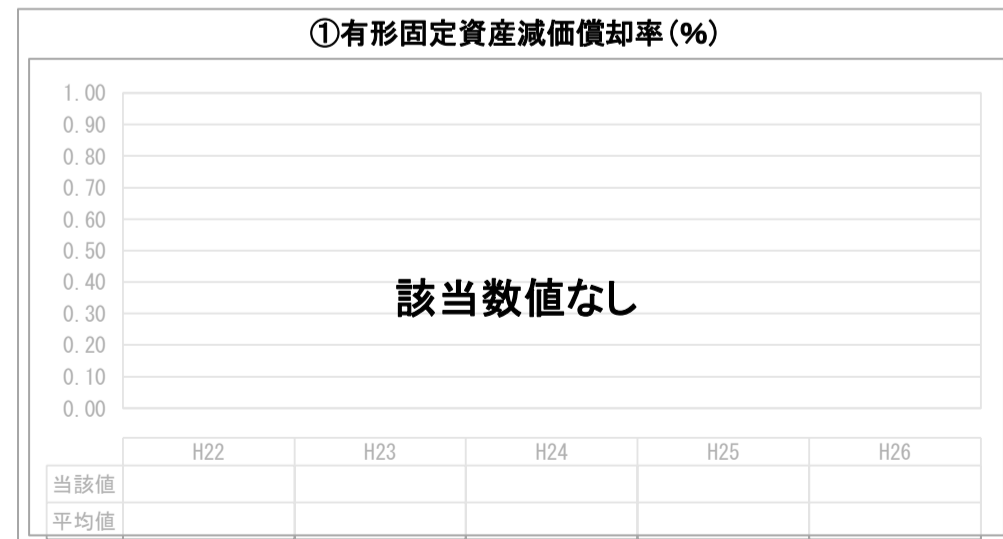


「施設の効率性」

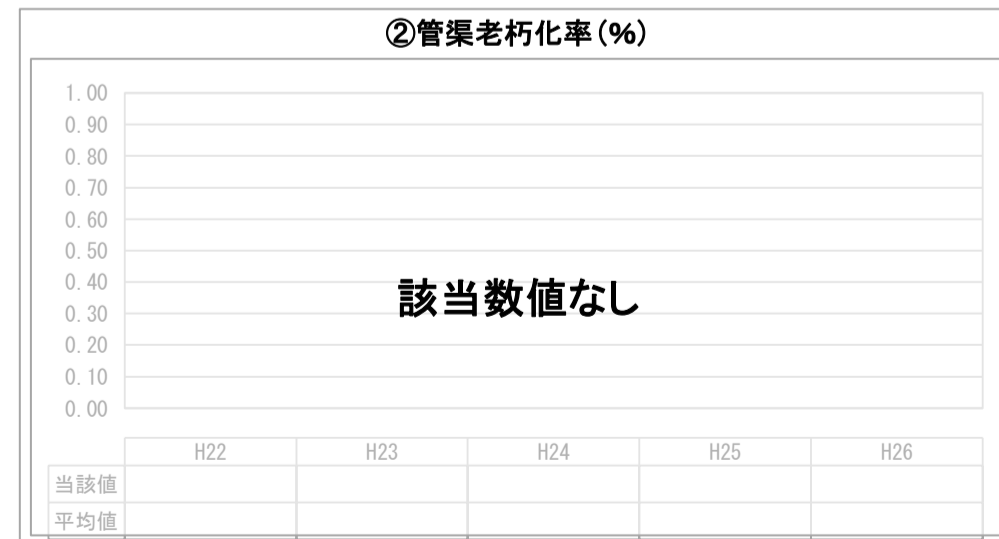


「使用料対象の捕捉」

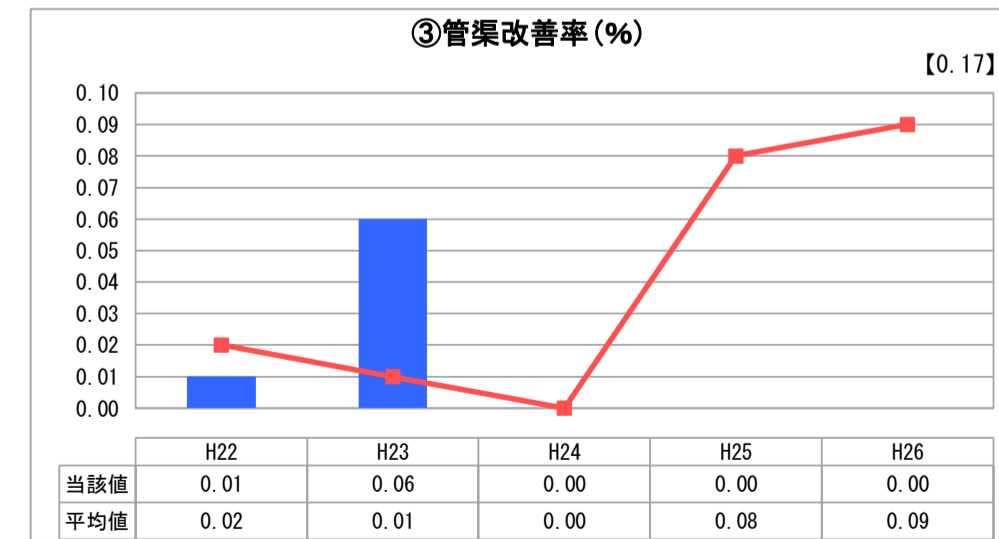
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、右肩上がりになっており経営改善に向けた取組の成果が出ている。
 ④企業債残高対事業規模比率については、平成22年度より減少傾向にあるが、全国平均と比較すると高い比率となっている。
 ⑤経費回収率について、右肩上がり改善されている、しかし全国平均と比較すると低い水準にある。
 ⑥汚水処理原価については、ほぼ150円で推移しており、全国平均と比較しても同じ水準にある。
 ⑧水洗化率については、右肩上がり推移しているが、全国平均と比較すると低い水準にある。

②、③、⑦については該当なし。

2. 老朽化の状況について

③老朽化の改善については、50年を経過している管渠はなく、管渠の更新投資額は少ない状況にある。

①、②については、該当なし。

全体総括

1. 経営の健全性・効率性については、収益的収支比率、経費回収率及び水洗化率は右肩上がり推移しており、今後も引き続き、向上を図っていく必要がある。
 また、下水道の経営健全化を進めるにあたり、定期的な使用料の見直しを行うなど安定した経営を行うように事業を進めていくことが大切である。

2. 老朽化の状況については、昭和49年から汚水管渠の整備を行っており、50年を経過している管渠はない。
 また、昭和60年代には急速に下水道管渠の整備を行っており、平成40年代後半には管渠の更新費用が増大することが予想される。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。